

## 令和4年度 地方創生応援税制活用事業評価書

本市では、水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2次）に位置付けた事業について、幅広く地方創生応援税制を活用するため、令和2年度～令和6年度を事業期間とする地域再生計画「水戸市まち・ひと・しごと創生推進計画」について国の認定を受け、積極的に財源確保に努めながら、集中的に推進している。

### 1 評価について

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2次）の評価（案） 資料1-②のとおり

### 2 活用事業の概要について

令和4年度については、6事業に対して、企業8社から合計52,800千円の寄附があった。それぞれの事業における実績、今後の取組方針等については以下のとおりである。

事業名	令和4年度の内容・実績	課題と令和5年度取組方針
伝承の味「水戸のわら納豆」を未来へつなぐプロジェクト  令和4年度事業費 予算額：600千円 決算額：430千円  担当課：農政課 観光課	（実施内容・実績など） わら納豆用わら苞生産体制の強化に向けたわら苞用稲わらの生産に取り組む農業者のパイプハウスの建設やわら苞加工施設へのハード整備は令和3年度をもち完了した。 令和4年度は、コロナ禍により観光客が減少する中でも、わら苞納豆の消費を維持していくため、都内アンテナショップでのPRや納豆かわら版、納豆のまち攻略ガイドの発行など市内外へわら納豆のPRを行った。  （寄附企業・寄附額） 常総開発工業㈱ 400千円	（課題） コロナ禍以前は、年間約90万食（推計）を販売していたが、感染拡大により納豆事業者の売上が落ち込み、障害者施設のわら苞出荷量も減少したため、わら納豆の消費拡大、ファンの増加が課題となっている。  （取組方針） コロナ禍からの観光客の回復に合わせ、わら苞の安定供給やプロジェクトのPRとともに、わら納豆の販売促進に係るPR等を引き続き実施する。
安心して医療サービスを受けられる環境づくり（水戸市医師修学資金貸与事業）  令和4年度事業費 予算額：22,500千円 決算額：17,800千円 ※在学生5人分  担当課：保健総務課	（実施内容・実績など） 特に医師不足が課題となっている産婦人科、小児科、救急科の医師を確保するため、将来、市内の医療機関に従事する意欲のある医学生へ修学資金を貸与するとともに、次年度の貸与者の募集・選考を実施した。 <b>【事業利用者】</b> 大学1学年：1人 大学3学年：2人 大学4学年：2人 初期研修2年目：1人  （寄附企業・寄附額） ㈱ウォーターエージェンシー 1,000千円 ジャパン・リニューアブル・エナジー㈱ 500千円	（課題） 貸与者、貸与申請者の希望する診療科に偏りがあり、産婦人科医を志望する学生への貸与実績がない。また、将来の医療ニーズを見据え、他の診療科においても医師の養成・確保が必要である。  （取組方針） 特に医師不足が課題となっている診療科の魅力を発信するとともに、貸与者に対して、卒業後の進路や初期研修後のキャリア形成等に関する支援体制を構築することで、事業の付加価値を高めていく。 また、希望診療科の偏りの軽減とあわせ将来の医療ニーズへの対応に向け、事業内容の拡充にも取り組む。

事業名	令和4年度の内容・実績	課題と令和5年度の方針
<p>環境保全に関する意識の啓発</p> <p>令和4年度事業費 予算額：280千円 決算額：280千円</p> <p>担当課：環境保全課</p>	<p>(実施内容・実績など)</p> <p>茨城県環境管理協会との協働により、市民の憩いの場である千波湖にて、主に小学生やその親を対象とした市民参加型の環境学習会を行った。</p> <p>ホテル観察やビオトープ作り、生息する魚や昆虫の調査など、千波湖周辺の自然環境をテーマに10回開催し、延べ2,008人の参加があった。</p> <p>(寄附企業・寄附額)</p> <p>あいおいニッセイ同和損害保険(株)100千円</p>	<p>(課題)</p> <p>参加者が環境保全に関する考えを深められるような、より魅力的な内容を協働事業者と共に構築していくことが課題である。</p> <p>(取組方針)</p> <p>千波湖環境学習会について、協働事業者とより魅力的な事業内容を検討し、体験しながら学習することで市民の環境保全に関する意識の啓発を図る。</p>
<p>U J I ターン・若者定着応援プロジェクト</p> <p>令和4年度事業費 予算額：3,311千円 決算額：1,450千円</p> <p>担当課：商工課</p>	<p>(実施内容・実績など)</p> <p>県内高校生や県内外の大学生を対象に、U J I ターンの促進や地元定着に向けて、企業を知ってもらい、地元就職が進路選択の一つとなるよう、企業ガイド特設WEBページの更新やオンライン合同企業説明会への参加支援をとおして、地元企業の情報発信に取り組んだ。</p> <p>また、若手社員等を対象にしたセミナーの開催等により、地元企業への就職や定着の支援を行った。</p> <p>(寄附企業・寄附額)</p> <p>(株)セコマ 300千円</p>	<p>(課題)</p> <p>市内出身の首都圏大学等に在籍する学生等に対し、より効果的な周知方法を検討する必要がある。</p> <p>(取組方針)</p> <p>実施事業の内容見直しや拡充を図りながら、引き続きU J I ターン及び若者の地元企業への定着を促進していく。</p>
<p>東町運動公園体育館機能向上事業</p> <p>令和4年度事業費 予算額：50,149千円 決算額：50,149千円</p> <p>担当課：体育施設整備課</p>	<p>(実施内容・実績など)</p> <p>アダストリアみとアリーナへのコンベンションの誘致を推進するため、メインアリーナセンターコートに照らす新たなLED照明及び会議室等に通信設備(Wi-Fi)を設置し、スポーツにとどまらない幅広い利用の促進を図った。</p> <p>・アダストリアみとアリーナ来場者数 253,655(人/年)</p> <p>(寄附企業・寄附額)</p> <p>(株)グロービス 40,000千円 グロービス・キャピタル・パートナーズ(株) 10,000千円</p>	<p>(課題)</p> <p>幅広いアリーナ活用を促進し、来場者の増加を図る必要がある。</p> <p>(取組方針)</p> <p>主催者等と連携し、大規模大会やイベント等を開催することにより、多様な交流、にぎわいを創出し、まちなか全体の活性化につなげていく。</p>

事業名	令和4年度の内容・実績	課題と令和5年度の実行方針
<p>新市民会館を中心とした新たな市民交流やにぎわいづくり</p>	<p>(実施内容・実績など)</p> <p>水戸市民会館を多くの人に親しまれる施設とするため、メインとなるホールのほか、販売会やスポーツ観戦のパブリックビューイングなどを実施できる屋内広場や、来場者が自由に利用できるラウンジギャラリー等の整備に取り組んだ。</p> <p>また、同施設を拠点とした新たな市民交流やにぎわいを創出するため、周辺の水戸芸術館や京成百貨店と一体的に形成するMitori0 地区においてイベントを開催した。</p> <p>(寄附企業・寄附額)</p> <p>第一生命保険㈱ 500千円</p>	<p>(課題)</p> <p>水戸市民会館の開館により生じる新たな交流人口を維持・増加させるとともに、周辺地区のにぎわいづくりにつなげていく必要がある。</p> <p>(実行方針)</p> <p>水戸市民会館の機能を生かした効果的な誘客方法及び来館者の周辺地区への回遊意欲向上方法を検討し、実施する。</p>
<p>令和4年度事業費 予算額： 8,923,000千円 決算額： 8,558,728千円</p>		
<p>担当課：新市民会館 整備課</p>		